

令和2年度 学校評価について

長崎県立長崎東中学校
長崎県立長崎東高等学校

1 学校評価の目的

目標達成状況を点検・評価して成果や課題を明らかにすることにより、学校運営や教育活動の改善に活かし、本校の教育力を一層高める。また、教育計画とその実施・達成状況の評価結果を公開することにより、保護者や地域社会に信頼される開かれた学校づくりを一層推進する。

2 評価項目

学校の重点努力目標（13項目）に係る評価項目を設定し、あらかじめ設定した評価指標にもとづいて、その達成状況等を評価した。

3 分析及び今後の対応

- (1) 『質の高い学習指導の展開と生徒が自ら深く考え、ともに学びあう姿勢の育成』について
「授業や学習指導に満足している」が生徒・保護者とも高評価であり、特に中学生は98%に上っている。新しい学習指導要領への対応も含め、職員の授業改善を一層進め、生徒一人ひとりを大切にした授業実践に取り組みたい。
- (2) 『よき世を創る高い志や夢を持たせる進路指導の充実と進路希望の実現』について
ほとんどの職員がICT機器の活用を含め、授業改善や指導力の向上に取り組んでいる。成績の如何にかかわらず、これまで以上に一人ひとりの進路保障に取り組みたい。
- (3) 『確かな倫理観と品性を育む生徒指導の推進』について
生徒・職員とも「容儀・服装」、「掃除」などで高い評価をしており、スマホ利用による情報モラルも一定の高評価である。しかしバスマナー（特に今年度はマスク着用や会話自粛を含めたマナー）や挨拶に関しては、まだ不十分な点が見られるため、引き続き指導していきたい。
- (4) 『国際社会で活躍できるグローバル人材の育成』について
「国際社会で活躍できる人材の育成に努めている」と評価した保護者の割合が9割を超えている一方で、「グローバルリーダーとして活躍したい」と思う生徒の割合は中高ともに5割に達していない。今後も生徒の意識高揚とグローバル人材育成に向けた取組のより一層の充実を図りたい。
- (5) 『郷土への誇りと愛着を持ち、郷土の将来を担う人材の育成』について
「奉仕的な活動を行っている」、「校外での研修に積極的に参加している」の生徒の割合が4割に満たないが、「ふるさとや地域社会、SDGs等の課題」について考えている生徒が7割前後おり、今後も「探究活動」の充実を通して、郷土に誇りと愛着を持った人材の育成を図りたい。

- (6) 『リーダーシップとフォロアシップを育て、自主・自律の精神を高める生徒会活動の推進』について
コロナ禍の制約の中であったが、生徒は「学校行事に積極的に参加している」に9割程度、「日頃から自主的・自律的な活動を心がけている」に8割5分以上の回答となっており、多くの生徒が意欲的な学校生活を送っている。今後も生徒会を中心に充実した活動ができるよう努めたい。
- (7) 『学習との両立を実現する部活動の推進』について
「学習と部活動の両立に努めている」と回答した生徒が86%、保護者が90.9%であり、意欲的に努力していることがうかがえる。また部活動への意欲的参加や満足度も8割を超えている。今後も学習と部活動の両立に向けた支援を継続していきたい。
- (8) 『豊かな心と表現力を育てる図書・視聴覚教育の充実』について
「朝の読書に熱心に取り組んでいる」と回答した生徒が86.9%で、おおむね良好である。個人の年間読書冊数は、例年通り中学校から高校にかけて学年が上がるごとに減少していくが、昨年度よりも増加した。今後とも、図書研修部や図書委員会を中心とした読書の啓発に努めたい。
- (9) 『一人ひとりを大切にする教育相談と心と体の健康づくりを推進する保健・安全指導の推進』について
「生徒一人ひとりを大切にした指導を行っている」と回答した保護者が90.2%、「周囲や相手のことを思いやって生活できている」と回答した生徒が94.5%おり、一定の評価を得ている。今後も相談部や保健部を中心に、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとも連携しながら生徒の支援や健全育成に努めたい。
- (10) 『校務の効率化を目指した学校情報化と情報セキュリティ対策の推進』について
コロナ禍の中で、オンラインシステムやICT機器の活用などを模索した一年であった。今後は校務効率化と並行して、生徒一人一台のパソコン保有に対応した教育環境・情報セキュリティの整備、研修、活用を進めたい。
- (11) 『施設・設備の充実と安全で安心できる教育環境の整備』について
日頃から事務部のきめ細やかな情報提供と綿密なチェックと迅速な対応により、安全な施設・設備が常に保持できている。今後も施設設備の充実に努め、安全・安心な環境づくりを推進したい。
- (12) 『学校、保護者、同窓会、地域社会等が一体となった教育活動の展開と広報活動の充実』について
「学校関係者との連携は円滑である」と回答した保護者は88.2%であり、昨年度より減少している。コロナ禍の中で、PTA総会を含め保護者の来校の機会がほとんどなくなった結果ではないかと考える。HPの更新に関するご要望もいただいております、改善したい。
- (13) 『教職員の服務規律の確保と働きやすい職場環境づくり』について
年間を通じて服務規律に関する職員研修を複数回実施し、資質の向上に努めた。また職場環境に関する職員の意識も高まっており、今後も同僚性・協働性の向上に努め、働きやすい職場づくりを推進したい。